



**第3回遺跡発表会を開催**  
 6月12日(土) 佐倉市立中央公民館大ホールにて、第3回遺跡発表会を開催しました。当日はお天気もよく、一般約200名の参加者がありたいへん盛況でした。調査成果の一部を報告できたのは、佐倉市城山ノ作遺跡、吉見台遺跡A地点(縄文時代)、成田市南羽鳥中岫第1遺跡(古墳時代)などの5遺跡でした。

《ご案内》

**本部展示室「最新出土考古資料展」**  
 佐倉市城山ノ作遺跡など、縄文時代から江戸時代までの出土資料を展示しています。ぜひ、佐倉の散策コースの一部に。

**10月1日まで** 9:00 ~ 16:30  
 土日祝祭日閉館。入場無料。  
 なお、10/4・5は展示替えて休館させていただいて、10月6日からは、企画展「印旛郡の須恵器」(仮題)を開催します。乞うご期待!

**四街道考古資料館(四街道事務所内)リニューアル**  
 常設展示が新しくなりました。調査の進む成山地区遺跡群の出土遺物を展示しています。遺物の整理作業なども見学OKです。

9:00 ~ 16:30。土日祝祭日閉館。入場無料。  
**移動博物館「吉見台遺跡」**  
 遺跡のある地元地区で、小規模でも資料公開をやるという今年度からのスタートのこの企画。今回は佐倉市白井地区です。吉見台遺跡は縄文時代後・晩期の大きなムラの跡で、貝塚も発見され、さまざまな遺物が出土しました。資料の一部とカラー写真パネルを中心に、遺跡を紹介します。

会場 佐倉市白井情報コーナー(京成白井駅・地図)  
 会期 8/20 ~ 8/31 9:00 ~ 17:00 日曜閉館  
 (土曜のみ解説員がいます)入場無料。

**岩名古墳群発掘調査現地説明会**  
 今号の一面を飾った岩名2・3号墳の現地説明会を開催します。発掘調査中の古墳をナマでみられます。パネル、遺物も展示します。でも、被葬者は?、副葬品は?当日までに何が発見されるのか、調査担当にもわかりません。

会場 現地(地図)佐倉市岩名960 岩名運動公園入口  
 日時 7/24(土) 雨天の場合7/25(日)  
 10:30 ~ 11:30 13:00 ~ 14:00の2回説明。  
 参加無料。会場には駐車場はありません。

**史跡めぐり**  
 バスに乗って発掘現場を巡ってみませんか。今年度は、印西市と白井町の方々を、佐倉市内の遺跡にご案内します。解説員として調査研究員が同乗。詳細は印西市、白井町広報誌(8/1号)に掲載予定です。募集案内にしたがって当センターにお問い合わせ下さい。(予定)8/25(水)10:00 ~ 15:00  
 弁当持参、各役場に集合、各市町村22名ずつ。参加無料。

《発掘中の遺跡》

**佐倉市**  
 端山越遺跡(奈良・平安時代) 岩名古墳群(古墳時代)  
 吉見城跡(中世) 神門房下遺跡C地点(縄文時代)

**四街道市**



成山地区遺跡群(縄文、奈良・平安時代ほか) その他etc...

《室内作業》

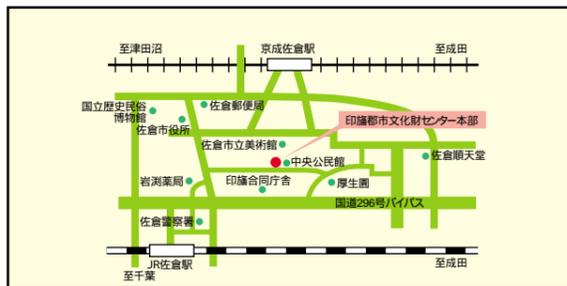
**本部(地図)**  
 佐倉市錦木町198-3 ☎043(484)0126(代)  
 坂戸念仏塚西遺跡(佐倉市・縄文時代) 吉見台遺跡A地点(佐倉市・縄文時代) 萩原長原遺跡(印旛村・弥生時代ほか)  
**成田事務所**  
 成田市飯仲字台畑330-1 ☎0476(26)7208  
 川栗館跡(成田市・古墳、奈良・平安時代、中世) 天神台遺跡(印西市・奈良・平安時代) 萩原株木遺跡(印旛村・中世ほか)

**四街道事務所**  
 四街道市みそら3-44-1 ☎043(432)0336  
 成山地区遺跡群(四街道市・縄文時代~中世)

**弥富事務所**  
 佐倉市岩富町538-1 ☎043(498)2742  
 井戸作遺跡(佐倉市・縄文時代ほか) その他etc...

《おしらせ》

上記の発掘現場、室内作業は見学できます。ただし、かならず事前にご連絡下さい。ご期待に添えない場合もあります。詳細は本部へお問い合わせを  
 本誌は年4回発行の計画で、第2号は10月発行予定です。今号のご意見などお聞かせ下さい。



広報誌 フィールドブック vol.1 発行・編集 財団法人 印旛郡市文化財センター 〒285 0025 千葉県佐倉市錦木町198-3 ☎ 043 484 0126(代) 043 484 9871 平成11年7月15日



佐倉市岩名古墳群



調査中の岩名3号墳(1辺16m)

印旛沼周辺は豊富な水と緑豊かな大地を背景に古代よりたくさんの遺跡や古墳群が存在する地域として知られています。その印旛沼の南岸、標高約28mの台地上に岩名古墳群(2号墳・3号墳)は所在します。発掘調査は平成11年5月から開始され、調査が進むにしたがい当初円墳といいつたえられていた2つの古墳が、2基とも方墳であることがわかりました。大きい2号墳は南北23m・東西22m、周溝を含めると南北32m・東西33mを測り、墳丘の高さも約3mもある非常に存在感のある古墳です。それに対し小型の3号墳は南北13m・東西12m、周溝を含めると南北17m・東西16mを測り、墳丘の高さも約1mと2号墳の約半分ぐらいの大きさです。2つの古墳の周溝からは墓前に供えられていたと思われるさまざまな土器が出土し、その土器から岩名古墳群2号墳・3号墳は古墳時代前期(4世紀)の終わり頃から古墳時代中期(5世紀)の初めころ(今から約1600年前)の古墳であることがわかりました。そしてこの2つの古墳は形や出土した土器、また古墳の並ぶ方向から見てもほぼ同じ時期に築造されたものと考えられます。印旛沼周辺地域ばかりではなく千葉県内においても岩名古墳群と同じ時期に造られたと思われる方墳はあまり例がなく、岩名古墳群は今後千葉県内の古墳の様相を考える上で重要な存在となってくることは間違いありません。現在、まだ調査途中のため埋葬施設(主体部)の調査には着手していませんが、このように大きく重要な古墳にどのような人が葬られているのか、今後の調査により明らかになってゆくことでしょう。7月24日には現地説明会を予定しています(詳細は本誌巻末参照)。皆さんも『FIELD BOOK』を片手に古代のロマンにふれてみてはいかがでしょうか。



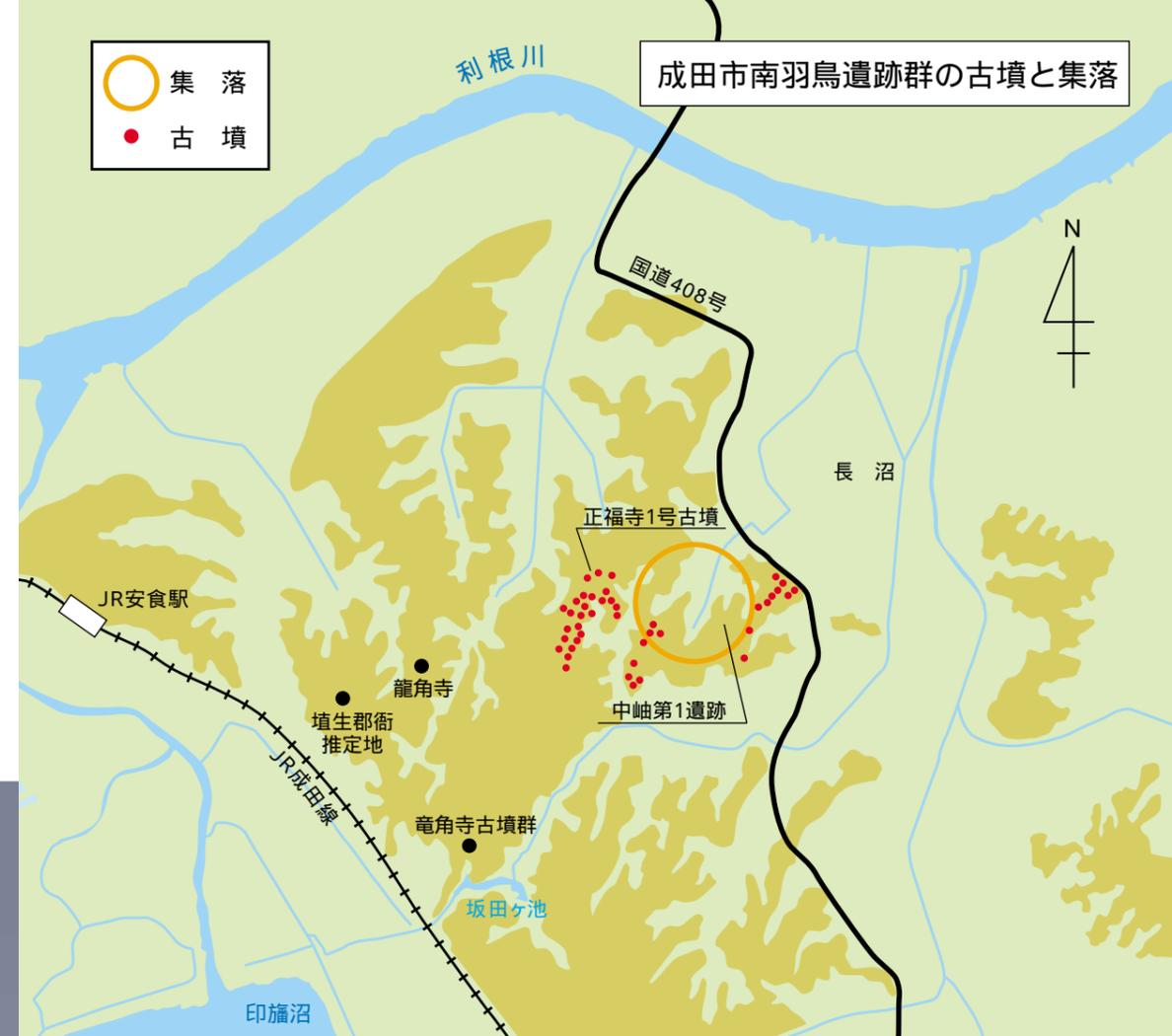
3号墳 小型埴土状況(遺物)



# 古墳時代のムラ～成田市南羽鳥遺跡群～

成田市南羽鳥遺跡群は、成田市の北部、国道408号沿いの、利根川にほど近いところにあり、ゴルフ場造成に先立って、平成元年から6年間で、11遺跡、約160,000㎡を発掘調査しました。この遺跡群を最も代表するのは、約40基もある古墳群と、その時代の集落群(4世紀～7世紀初頭)です。低地に突き出た尾根上には、中岫第1遺跡、久保遺跡などで300軒以上の竪穴住居跡が見つかりました。全体でひとつのムラをつくっていたのでしょう。大規模な祭祀跡も発見されました。集落のほずれには当時のこの地域の権力者層のお墓である古墳が配置されています。古代

の人々の社会も、きちんとした約束事にしだがつて営まれていたのです。古墳は数基が調査されました。そのうちの正福寺1号墳は6世紀に造られた墳丘直径約21mの二重周溝円墳で、人物、馬、魚などの多数の埴輪が出土しました。なかでもムササビ形の埴輪は全国初の発見で、マスコミにさかんに取り上げられました。また、今年度に設立15周年をむかえた当センターのシンボルマークにも採用しました。この広報の案内役もムササビ君です。



正福寺1号墳出土の埴輪  
前列左から魚、ムササビ  
後列左から水鳥、男性、女性。  
女性像の高さは58cm。



中岫第1遺跡の祭祀跡  
(水糸のマスは50cm角)